

## 御岳山蓮華升麻ウォーキング

地球温暖化の波がここに至り、熱波は更に地球を暖め、都内に 35℃を超える日々を出現させている。台風 13 号は、東から西へ逆走し、14 号は、東京直撃はなかったものの関東地方に上陸寸前と、例年の天候とは何かが違っている。

先週の天気予報では、8 月 13 日(月)は雨のち曇りとなっており、ウォーキング計画実施は難しいかと危ぶんでいたが、週末の予報は幸いにも曇りに変わった。

前日の日曜日、午後から雨が降り始めたのだが本日 13 日の朝は、雲間に晴天が覗いている。熱中症の心配はあるものの、晴れているほうが嬉しい。JR 荻窪駅発 9:30 JR 中央線青梅行きに乗車。青梅にて奥多摩線に同一ホームの対面で待っている電車に、駆け込み乗車。お盆休み中とて大変な混みようで、乗込んだ途端背中を挟みそうにしながらドアが閉まった。

1 時間半の列車旅にて、JR 御嶽駅到着。西東京バスで、御岳山ケーブルカー下バス停まで行きたいのだが、ようやく 3 台目のバスに乗れた。これまた WINGS メンバー 5 人が乗ったところでドアが閉まる。約 10 分弱にて終点バス停に到着。わずかばかり急坂を登ると目線の上部に、カーボン補強の橋脚と赤い橋梁が怪獣のように見える。



ケーブルカー滝本駅先の橋脚と橋梁

滝本駅にてケーブルカーに乗る。6 分程にて御岳山頂駅に到着。



このコースを選択



京王電鉄御岳登山鉄道滝本駅



御岳登山鉄道御岳山駅

山頂駅の左手に大展望台が有る。今日は夏日にて湿度も高い。澄渡った日にはスカイツリーが見えるというのが、東京ドームが白いドットとして認識できた?に過ぎない。どう

やら都内は、曇りのようだ。



東京方向遠望??

すぐにリフトに乗り換える。ケーブルカーの往復とリフトの上りを一枚にセットした特別割引券を利用させて頂く。



ケーブルカーの往復とリフト登りで1210円

### 北峰園地北斜面へ

9月2日まで、リフト駅舎の二階でプロ写真家の作品展示がされていて、芸術的に撮られた蓮華升麻(レンゲショウマ)が展示されている。

写真家に負けない一枚を撮ってみたいと、すぐ北側の北峰園地北斜面に、20歩程も先の斜面に群生が待っていた。



北峰園地北斜面：ちらほらと白い花が

この群生が日本一の生息状況だそうで、最盛期には5万輪ほどが開花することだが今日は、ざっと5000輪ほどの開花状況ですと。大豆ほどのまん丸な蕾を、細く長い

華奢な茎の頂に付け、時を待って、下向きに白い花びらを広げる。花卉の中央部には、薄紫色の斑を薄目に燈す。かよわく、繊細なその姿は、まさに霧中のように湿度高く霞立つ平安の鄙にでも在りそうな雰囲気である。カメラマンが多く、花の取り合いがあちこちに。



北峰園地北斜面に咲く蓮華升麻



蓮華升麻の花=とても可憐（キンポウゲ科）



中央の薄紫色が可憐

花は下向きゆえ、跪づいてレンズを上向きにしないと写せない。膝座布団が必要である。カタクリのそれよりは楽かも知れないが。

### 産安社

北峰園地のすぐ上部の多少平地となったところに、休憩所と並んでいるウブスナノヤシロを参拝。安産祈願が主であるが、高齢

健康の祈願もOKとあり、本日の安全もお願いさせて頂いた。



産安社（ウバスナノヤシロ）



安産杉



夫婦杉



女杉

### ゲストセンターから御岳神社へ

神主に御岳神社の方向を伺うと、「正面の階段を下りて右へ」とのお達し。素直に聞いて下りて行く。急な階段である。安全祈願が必要と悟る。

本日のメインテーマは、蓮華升麻ではあるが、御岳山に来て御岳神社に参拝しない訳には行かない。武蔵御岳神社へ向かってウォーキング開始。



この急階段を下りて右へ



三叉路にて



道端に咲いていたオレンジ色の花???



鍵折れの道

### 宿坊のまちなみ

茅葺を新しく葺き替えた屋根の宿坊を見ることができた。且つ左側の付け屋根は、なんと檜皮葺きとなっている。都内で日本家屋の

更新を展示場でなく見られるのは、ここぐらいではなかろうか。



茅葺きも新しい宿坊（御師家屋）



重厚な宿坊と急坂

## ゲストセンター

本日は休館・・・にてその存在は？？？

## 参道から階段へ

シニアには、ちと厳しい坂道を、息を切らせながら登って行く。各宿坊には、「東京都〇〇協会研修〇」の名札が掛かり、先生？や若者が参加している。ビジネスマン風の格好でセミナーに参加する人達もいて、まさにセミナータウン？？

坂道を右手に(最終コーナー)を曲がると、ようやく門前の商店街が見えてくる。商店街を過ぎれば、すぐ先に御岳神社境内となり、300 段の階段が待っている。



参道商店街



本殿までは、300 段



キツイナー



階段に刻まれた邪鬼：踏みつけて邪気を払う？？？



御岳神社が見えてきた



もう少し！武蔵御岳神社前階段



神社本殿に：ヤマトタケルを導いたニホンオオカミ



参拝を終えて



武蔵御岳神社由来案内



茶店の崖に咲いたキバナレンゲショウマ



本殿奥・旧本殿本殿周りにも



耳を済ますと花の背から七代の瀧音が微かに

## 帰り道

300 段は、降りるのも大変。ゆっくり慌てず、シニア流。商店街で体を冷やそうかと、茶店でかき氷を頂くことにする。茶店の崖にキバナレンゲショウマが、黄色い花を付けていた。同じ升麻であるはずだが、同種とは思えない。



火照った体を冷やすため、かき氷(マンゴー)を頂く  
一休みして下山開始。最終コーナーの内側には、古代ヒノキが参拝者を見守っていた。登るときには下を見つめていたせいか、気付かなかったのだが 1000 年以上の重みに圧倒される。



古代ケヤキ：1000 年以上

お腹も減ってきた。多摩川沿いの御岳溪谷を眺めながら、美味しいそばを食べるイメージが頭の中でだんだん大きくなっている。

足早に坂道をケーブルカー山頂駅に向かって降りて行く。

小雨が降り始める。傘を差すほどでも無い。通り雨程度は、端から予想の範疇。しかし遠くで雷鳴が聞こえるのが気になる。だんだん近付いて来るような気がする。若者が駅方向から走りながら、下山ルートを問うている。変だぞと思い始めると、ケーブルカーが天候回復を待って、運転再開待ちだという。「蕎麦ごろう」に予約の電話を入れてみると「蕎麦が売り切れたので予約は受けられない」との残念な言葉。天候も早々に回復と思いきや、一時間ほども待たされ踏んだり蹴ったり。駅前のシート庇の下で雨宿り…、何とかケーブルカーに乗車。



雷雨後の下界：まだ雲の中で雨が降っている？



ケーブルカーの下もまだ雲の中

ケーブル下バス停から、JR 御嶽山駅へのバスに乗車。なんとかスムーズに御嶽山バス停に到着。

何かをお腹に入れたいと、バス停の向かいの小さなcafeで、5人窮屈だが座らせて頂く。コーヒー、もしくはレモンティーとフレンチトーストをお願いし、JR 奥多摩線の運転再開を待つことに。打合せ時間を一時間程たっぷりプレゼントされ、荻窪に夕刻 6 時に

帰還。駅前の小広場に水溜りが有り、杉並も大雨だったことを知らされる。

はじめ良好、中パツパ、上り大変。そんなウォーキングは、約 8000 歩。仲間でのウォーキングで良かった、とつくづく思う。一人ぼっちだったら俯いていたかも知れない。

WINGS の皆さん有難うございました。無事帰らせてくれた御岳神社の大神(狼)さん有難う。出来たら次回は、良い天気にして下さい。

20180813  
suginami WINGS  
JUSTing



蓮華升麻の観賞は十分に満たされました